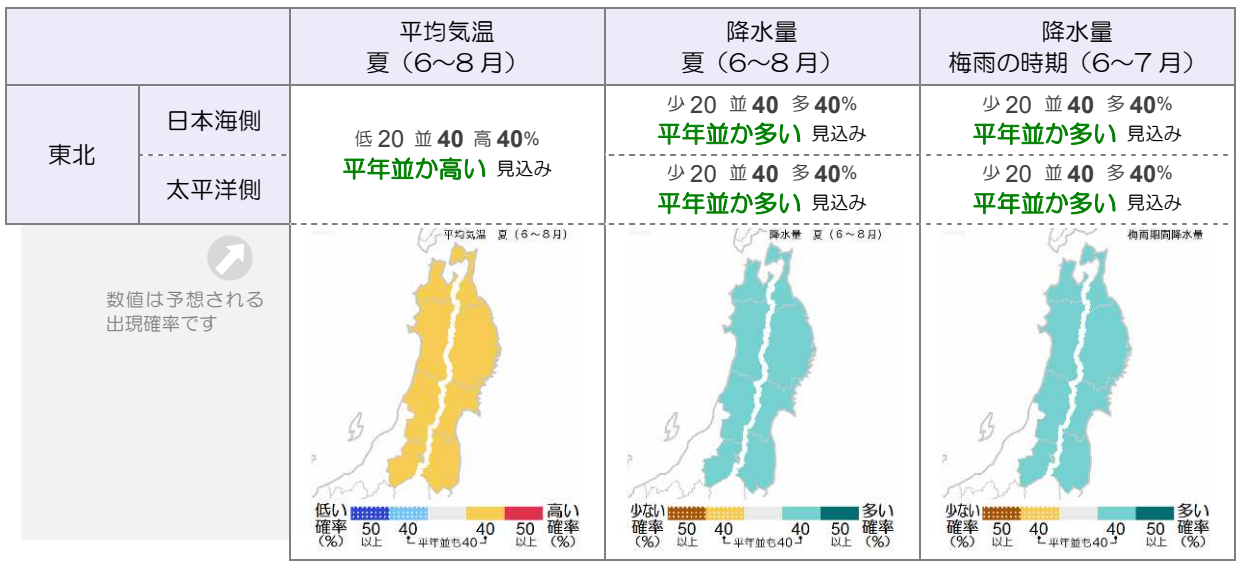


夏の天候の見通し 東北地方 6～8月

予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすく、夏の平均気温は平年並か高いでしょう。
- 梅雨の時期（6～7月）は、湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多く、降水量は平年並か多い見込みです。その後は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- 夏の降水量は、平年並か多い見込みです。

夏（6～8月）の平均気温・降水量



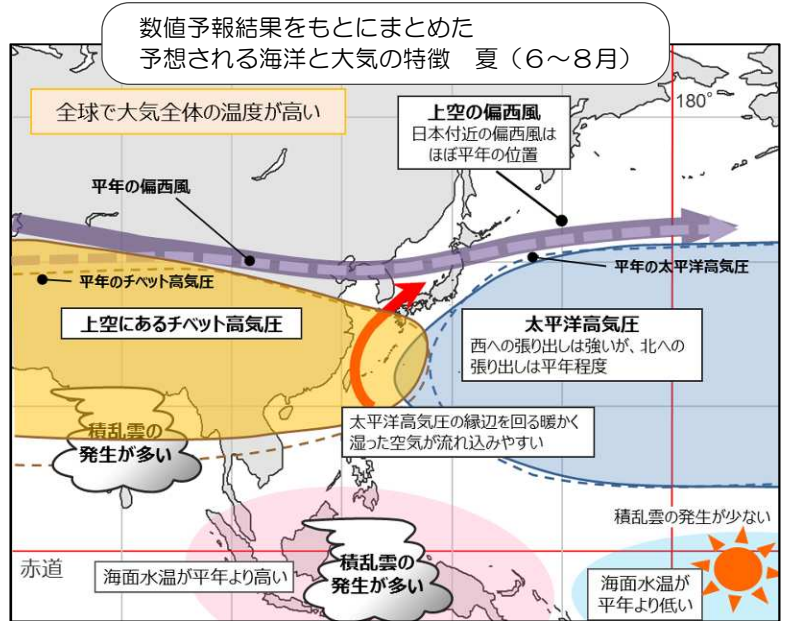
季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い）確率が50%以上 (20 : 40 : 40)	高い（多い） 見込み
平年並の確率が50%以上 (40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	平年並か高い（多い） 見込み 平年並 の見込み ほぼ平年並 の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並か低い（少ない） 見込み
低い（少ない）確率が50%以上	低い（少ない） 見込み

予想される海洋と大気の特徴

- 地球温暖化の影響等により、全球で大気全体の温度が高いでしょう。
- 海面水温は、日付変更線付近では南半球側を中心に低く、その西側で高いことに対応して、インドネシア付近で積乱雲の発生が多いでしょう。
- これらの影響により、上空の偏西風は、日本付近ではほぼ平年の位置を流れるでしょう。太平洋高気圧は西への張り出しは強いですが、北への張り出しは平年程度でしょう。
- このため、沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われやすい時期があるでしょう。また、北・東・西日本では、太平洋高気圧の縁辺を回る暖かく湿った空気が流れ込みやすいでしょう。



最近 10 年間の夏の特徴

年	夏の平均気温 平年差℃（階級）	夏の天候の特徴
2011	1.1(+)	気温は高い。降水量は少ない。日照時間は平年並。平成23年新潟・福島豪雨。
2012	0.8(+)	気温は高い。降水量はかなり少ない。日照時間はかなり多い。
2013	0.8(+)	気温は高い。降水量は多い。日照時間は平年並。8月に秋田県、岩手県を中心に記録的な大雨。
2014	1.0(+)	気温は高い。降水量は多い。日照時間は平年並。
2015	0.8(+)	気温は高い。降水量は少ない。日照時間は平年並。
2016	0.8(+)	気温は高い。降水量は多い。日照時間は平年並。
2017	0.3(0)	気温は平年並。降水量は多い。日照時間は平年並。8月は顕著な日照不足。梅雨明け特定できず。
2018	1.3(++)	気温はかなり高い。降水量は平年並。日照時間は平年並。
2019	0.8(+)	気温は高い。降水量は平年並。日照時間は平年並。
2020	1.2(+)	気温は高い。降水量は多い。日照時間は平年並。7月は顕著な多雨・日照不足。東三陸は梅雨明け特定できず。

階級 --: かなり低い -: 低い 0: 平年並 +: 高い ++: かなり高い

参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温 夏（6～8月）	降水量 夏（6～8月）	降水量 梅雨の時期（6～7月）
東北地方	平年差: -0.3～+0.3℃	平年比: 93～110%	平年比: 94～107%
東北日本海側	平年差: -0.3～+0.2℃	平年比: 89～109%	平年比: 90～110%
東北太平洋側	平年差: -0.3～+0.4℃	平年比: 87～115%	平年比: 92～108%
秋田	22.0～22.6℃	383.8～523.0mm	245.3～330.2mm
仙台	21.2～21.9℃	396.3～573.0mm	260.8～372.0mm

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間（1981～2010 年）の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い（多い）方から 11～20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。

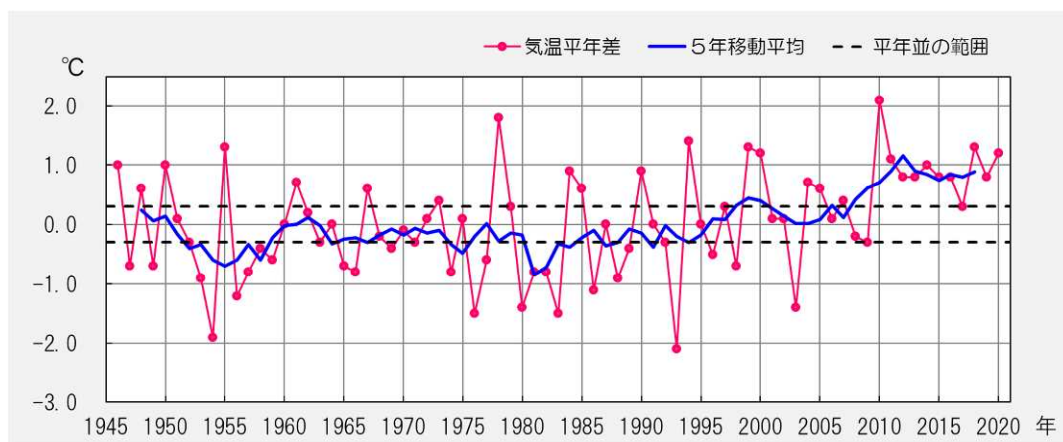
● 晴れ日数と降水日数の平年値

	6月		7月		8月	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
秋田	14.7日	9.9日	12.0日	11.8日	17.5日	10.0日
仙台	11.3日	10.7日	9.7日	13.5日	13.2日	10.6日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の40%以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量1mm以上」の日数です。この2つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

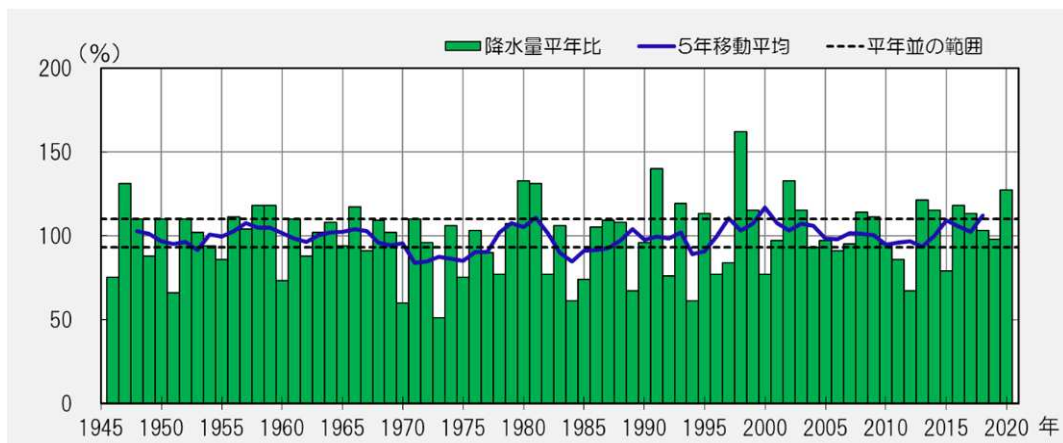
●夏（6月～8月）の気温と降水量の経年変化

東北地方の夏の平均気温は、1970年代後半以降、年々の変動が大きくなっていますが、2010年以降は平年より高い年が大半を占め、2020年も高くなりました。東北地方の夏の降水量は、最近10年間は大きな偏りはありませんが、2020年は多くなりました。



東北地方の夏（6～8月）の平均気温平年差の推移

平年値は1981～2010年の30年平均値、統計期間は1946～2020年です。平年並の範囲は-0.3℃以上、0.3℃以下です。



東北地方の夏（6～8月）の降水量平年比の推移

平年値は1981～2010年の30年平均値、統計期間は1946～2020年です。平年並の範囲は93%以上、110%以下です。

●東北地方の年間真夏日日数平年値（日）

	青森	秋田	盛岡	仙台	山形	福島
年間真夏日日数	12.5	18.3	19.1	17.9	37.1	42.2

真夏日は日最高気温が30℃以上の日です。

●東北地方の平年の梅雨入り、梅雨明けの時期

地域名	梅雨入り		梅雨明け	
	平年値	平年並の範囲	平年値	平年並の範囲
東南北部	6月12日頃	6月9日頃から6月14日頃	7月25日頃	7月22日頃から7月27日頃
東北北部	6月14日頃	6月11日頃から6月16日頃	7月28日頃	7月23日頃から7月31日頃

梅雨は季節現象であり、梅雨入り、梅雨明けには一般に数日程度の移り変わりの期間があります。梅雨入り、梅雨明けの日付は移り変わりの期間のおおむね中日用いて、○日頃と表記しています。

●台風発生数、上陸数、本土接近数の平年値

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
発生数	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	2.3	1.2	25.6
上陸数					0.0	0.2	0.5	0.9	0.8	0.2	0.0		2.7
本土接近数				0.0	0.1	0.4	1.0	1.7	1.7	0.7	0.0		5.5

台風の中心が本州、北海道、九州、四国のいずれかの気象官署から300km以内に入った場合を「本土に接近した台風」としています。